

## アートな麻布に魅せられて⑧ “装花”でおもてなし



赤井 勝(あかい まさる)  
自らを「花人(かじん)」と称する、フラワーデザイナー。在日各国大使夫人へのフラワーレッスンをはじめ、「北海道洞爺湖サミット」などの政府主催イベントへの参加、ローマ法王への謁見・ブーケ献上など、国内外で幅広く活躍中。1965年大阪生まれ。  
<http://www.akaimasaru.jp>

今年の春と秋、アークヒルズのアーク・カラヤン広場に季節が凝縮された花のオブジェが出現したのをご存知だろうか。日常のテーブルフラワーからイベント用の大型オブジェまで多彩に手がける“花人”赤井勝氏の作品だ。六本木1丁目のアトリエに赤井氏を訪ねた。

黒づくめのイデタチは、作品の“黒子”に徹すると共に、空間をジャッジする裁判官の黒衣をイメージしているのだという。判断の決め手となるのは、赤井氏自身の感性、直感だ。ホームセンターで目に留まった鉄筋の山積み、棒状の軽量鉄骨の束も、閃けば花器に使う。人に対しても、花に対しても、「これっ！」と感じる直感を大切にしてきた。

きっかけは幼少期にメディアで見たエリザベス女王来日の際の飾花だった。家業の花屋で見知った生け花とは全く違うフラワーアートに衝撃を受け、数年後、店を訪れた客の紹介でエリザベス女王を迎えた花の作者に習う機会を得た。空間使いの広がり魅了され、生け花とフラワーアレンジメント、双方を融合した“装花”を自身のスタイルとした。企業や外国公館のイベントで装花を手掛けるようになり、前ローマ法皇へのブーケ献上や伊勢神宮式年遷宮の献花奉納など多様な活躍の場を得た。

数年前から東京にも活動拠

点を設け、地元大阪と行き来している。職住が接近した東京の拠点・麻布には、大阪にない魅力を感じるといふ。入り込んだ高低が織りなす地形の強弱、モダンな高層ビルの足元に昔ながらの佇まいを残す低い建物、坂道を登って道を曲がると現れる異空間。完成された都市景観など意に介さず、舗装道路の割れ目に遅く咲くタンポポに、花人は心をときめかす。限られたスペースや時間でいかに最大限の表現をするか、この街にはインスパイアされることが多いそうだ。

無常の花で表現するアート、花の咲き様も刻々変化する。映像でしか残し得ないが、生の色目や空気感は良くも悪くも別物となる。クリスマスを迎えるこの時期には、大阪駅北口に大きなクリスマスの花が飾られる。この時期関西にお出かけの方には、今だけのクリスマス装花を間近にご覧頂きたい。



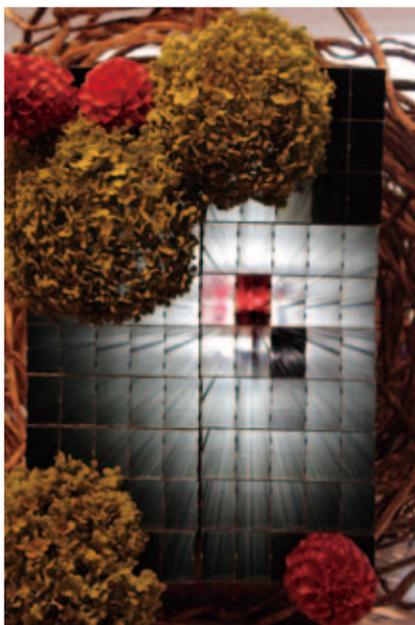
生徒だった大使夫人に帰国の際、卒業証書を渡すのが慣例。レッスンでは、配付された教材を互いに交換し合うなど、日本人にない自由な発想に、むしろ教えられるという



フランク・ミュラーのエキシビジョンでの装花  
(於:京都 竹内栖鳳旧邸)



アークヒルズ秋祭り2015の装花



伊勢神宮式年遷宮に奉納された献花

アルミ製の建築用資材を束ねたオブジェも、この通り、見事な花器に!

アークヒルズさくらまつり2015の装花



(取材/出石供子、大村公美子 文/出石供子)

特別寄稿

## 杉原千畝

すぎはらちうね

## 杉原千畝と麻布台・外交史料館の杉原展示

第二次世界大戦中、リトアニアの日本領事館領事代理として赴任していた杉原千畝は、ナチス・ドイツによって迫害されていた多くのユダヤ人たちに、ヴィザを発給した人物です。2015年は杉原生誕115年、ヴィザ発給から75年、戦後70年の節目の年です。杉原の出身地、岐阜県八百津町が申請した、「杉原リスト」1940年杉原千畝が避難民救済のため、人道主義、博愛精神に基づき大量発給した日本通過ヴィザ発給の記録は、2017年のユネスコの「記憶遺産」登録に向けた、国内候補に選ばれています。杉原千畝を長年にわたって研究している、外務省外交史料館の白石仁章氏に、特別寄稿をお願いしました。

本年12月公開の映画「杉原千畝」の主人公、唐沢寿明さん扮する、外交官 杉原千畝(以降「杉原」と表記)は実在した人物であり、第二次世界大戦下のリトアニアにおいて数千人もの命を救ったことで、日本だけではなく、国際的にも高く評価されている。杉原が活躍したリトアニアの大使館が元麻布にあることは、本紙(Vol.30)でも紹介されたので、ご存知の方も少なくないだろう。しかし、都内で唯一、杉原の展示コーナーが常設されている施設が麻布台にあることをご存知な方は、少ないのではないだろうか。

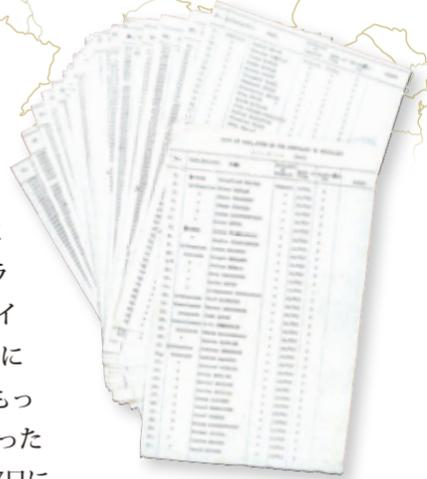
六本木の駅から外苑東通りを東京タワーの方向に歩いて約10分、飯倉片町の交差点を渡り、麻布郵便局の手前にある外務省外交史料館(※)がそれである。ここは、幕末期からの外交記録を整理、保存、そして研究を目的としている人々の閲覧に供している機関であるが、外交史に関する知識普及のために展示も行っている。そして、本館ロビーには、杉原の生誕100周年を記念して2000年に設置された(杉原は1900年1月1日生まれ)顕彰プレートと共に、杉原に関する特に重要な史料が展示されている(貴重な史料であるので、現物ではなく精巧に作られたレプリカではある)。ご興味のある方は、是非一度外交史料館を訪れ、この展示コーナーを見学していただきたい。ここでは、これら展示物の中から、最も杉原の活躍を伝える史料などを紹介しつつ、リトアニアにおける杉原の活動の一端を紹介することとした。

1939年8月28日、杉原とその家族は、リトアニアのカウナスに到着した。それは、世界が激動の時代に向かいつつあるまさにその時であった。彼が前任地である在フィンランド公使館からリトアニアに向かう途上、世界を驚愕させた独ソ不可侵条約が締結された。アドルフ・ヒトラー率いるドイツは、反共産主義を唱え、それゆえに日本と日独防共協定を結んでいたはずであった。そのドイツがよりによって、共産主義の総本山であるソ連と手を組んだのである、日本の平沼騏一郎首相が「欧州の情勢複雑怪奇なり」との言葉を残して総辞職したのは杉原一家がカウナスに到着したまさに

その日であった。そして、わずか数日後の9月1日、ドイツ軍がポーランドに侵攻し、同3日にはポーランドと友好関係にあったイギリス、フランスがドイツに宣戦布告した。この日をもって第二次世界大戦が始まったとされている。さらに同17日には、ソ連が東よりポーランドに侵攻し、東西からの挟撃によりポーランド全土が9月末までに占領されてしまったのだ。

戦前のポーランドには、ヨーロッパ諸国の中で最も多数のユダヤ系住民が暮らしていたので、隣国リトアニアに逃げ込んだ避難民には、多数ユダヤ系の人々が混じっていた。

外交史料館で展示されている史料の1つに「ヴィザ・リスト」と呼ばれている史料があり、ヴィザを発給した人々の名前が記されている。この史料を確認すると、ヴィザを発給された人々の大多数が国籍上はポーランド人であり、命からがら母国から脱出してきた難民たちであったことがわかる。ようやく逃げこめた安住の地＝リトアニアが、翌1940年ソ連により併合されることとなり、彼らは再び脱出先を求めたのであった。当時、ヨーロッパの西側では、ドイツが破竹の勢いで大国フランスすら降伏に追い込んでいたので、西側への脱出は不可能であった。危険を冒しても、ソ連国内を通り、日本に渡り、そこからアメリカなどへ逃れるしか道はなかった。すなわち、日本のヴィザが生き延びるための必須条件であったのだ。



ヴィザ・リスト(外交史料館所蔵)



杉原千畝  
(外交史料館所蔵)  
(1900～1986)



杉原が赴任した当時のリトアニア大統領官邸



杉原がヴィザを発給し続けた旧領事館、現在は杉原記念館。館長さんもいっしょに。

領事館を囲み、必死にヴィザを求める人々を前に杉原は苦悩した。日本の通過ヴィザを発給するにあたっては、最終的な行先国の入国許可を得ていること、そして十分な旅費を持参していることが必要要件であったが、ポーランドから着の身着のまま逃れてきた避難民たちに、そのような要件をクリアしている者などほとんどいなかった。しかし、リトアニアに入ってきたソ連当局は、リトアニアの旧政府関係者やユダヤ系を含むポーランド人々を容赦なく逮捕していた。杉原がヴィザを出さなければ、領事館を囲んでいる人々に苛酷な運命が待ち構えている。杉原以外に彼らを救える者はいなかったのだ。

# を中心に

## 外務省外交史料館 白石仁章

発給し続けたヴィザのひとつ  
(岐阜県八百津町杉原千畝記念館所蔵)



数日悩みに悩んだ末、杉原はついに決断した。要件を満たさない者たちにもヴィザを発給することを。領事館を囲んでいた人々の間に歓声があがった瞬間であった。それは、先の「ヴィザ・リスト」から類推すると1940年7月26日のことであった。リストを確認すると、その日から一日あたりのヴィザ発給数が急に増えているのである。

リトアニアを併合したソ連は各国の外交官たちに退去を求めたが、杉原は退去期限ぎりぎりの8月末までヴィザを発給し続けたという。ところが、その杉原の元に外務本省よりヴィザ発給の規則を守るようにとの電報が8月16日に送られた。展示史料の1つである松岡洋右外務大臣より杉原宛電報第22号である。この電報には、カウナス領事館で発給されたヴィザを持参して来日したものの、行き先国の手続き未了あるいは、十分な旅費の持ち合わせがないために、日本から出られなくなっている避難民が多数にのぼっている。ヴィザ発給の規則を守るようにと記されている。

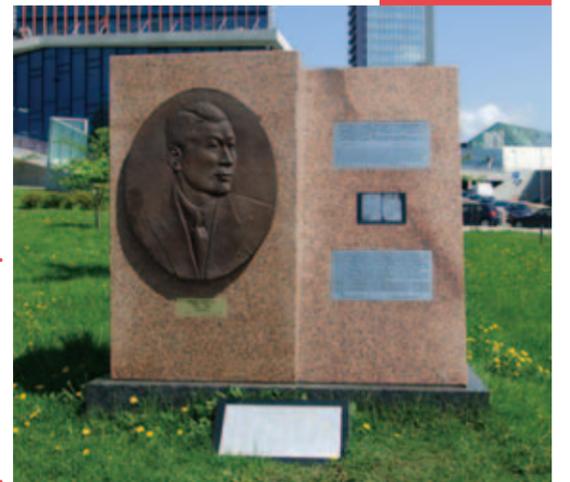
それでも、杉原は避難民たちにヴィザを出し続けた。彼は、領事館閉鎖まで先の電報第22号へ返事をするこ

く、ひたすらヴィザを発給した。そして、ヴィザには「この人物はウラジオストク到着までに、行き先国の入国手続きと旅費の手配を済ませることを約束したので、特別にヴィザを発給した」とのスタンプを押した。その上で、領事館閉鎖後に送った電報第67号、展示されているその電報において、彼ら避難民たちの事情は同情に値するので、先の約束をした者に限りヴィザを出していると報告した。

この報告に対しては、本省からは、そのような措置をしては困るので、「今後は」、ヴィザ発給のルールを守るようにとの電報がすぐに送られた。しかし、「今後は」という言葉を引き出すことにより、杉原はそれまで発給したヴィザが有効とされることに成功したのだ。

数千人もの人々の尊い命を救うには、杉原の博愛精神に加え緻密な戦略があったのである。杉原に救われた人々の子孫は今や20万人以上に達していると言われる。外交官杉原千畝の名前は、今後ますます全世界に知られていくに違いない。

ヴィリニウスの桜公園内の記念碑。左側に杉原千畝氏のモニュメント、右上段に早稲田大学寄贈説明文。右中段は杉原ヴィザのモニュメント。傍らに、桜の木が数十本植樹されている。2007年には天皇・皇后両陛下も訪問されている。



※外務省外交史料館

港区麻布台1丁目5-3 ☎03-3585-4511  
開館時間／月～金 10時～17時30分  
休館日／土・日・祝、年末年始(12/28～1/4)、および臨時の休館日として公示した日(電話にて休館でないことをご確認のうえ、ご来館ください)。  
入館料／無料  
HP/www.mofa.go.jp/mofaj/annai/honsho/shiryo/

白石 仁章(しらいし まさあき)

1963年 東京生まれ 上智大学大学院史学専攻博士課程修了。大学院在学中の1989年より、外務省外交史料館に勤務し、現在に至る。その傍ら東京国際大学、慶應義塾大学大学院などで教鞭を執った。外交史とインテリジェンス・システム論が専門。特に杉原千畝研究は、大学院在学中からのテーマである。新潮選書『諜報の天才 杉原千畝』(文庫版『杉原千畝 情報に賭けた外交官』)、角川選書『戦争と諜報外交』など著書多数。

※本文で述べた見解は筆者個人のものであり、筆者の所属する機関の見解を代表するものではありません。

画像提供／外務省外交史料館、杉原千畝記念館、白石仁章 (特別寄稿／白石仁章 編集／高柳由紀子)



オステリア ナカムラ  
シェフ 中村 直行さん  
イタリア各地で料理を学んだ後、2003年、イタリアンレストラン「オステリア ナカムラ」をオープン。常に奥様と二人三脚でリピーターの多いお店を運営。  
オステリア ナカムラ  
港区六本木7-6-5 六本木栄ビル2F  
http://www.osteria-nakamura.com

### 生きる上で大切な「食」を シンプルに職業にした結果



イタリアでの修行時代の古い写真を見せていただきました。20代前半当時、英語もイタリア語もよくわからないながら、果敢に「お給料はいらさないから働かせてほしい」と頼み込んでレストランに雇ってもらったこともあるそうです。

今回は六本木にある「オステリア ナカムラ」を訪れました。麻布学園中学2年生の二人がシェフの中村直行さん取材し、昔から今に至る経緯を中心に話をうかがいました。

◎イタリアンの料理人になった理由はなんですか？

30年以上前に料理の専門学校に入りました。当時は専門学校でも「中華・和食・フランス料理を中心とした西洋料理」といった大雑把な分類しかありませんでした。そんな状況の中、たまたまアルバイトをしたところがイタリア料理のお店で、「イタリア料理は面白い」と思ったわけです。そこでこの世界に入ることにしました。

◎元々、料理人を目指したのはなぜですか？

それは父親の助言によります。生きていく上で大切なことを身につけなさい、と言われました。具体的には「衣食住」、着るもの、食べるもの、住むところ。そこで、料理人ならいいのでは、と勧められました。食べるものには100%絶対困らない、食いつぶぐれない。面白そうだなと思いました。結果的に良かったと思っています。

◎料理人になってから気づいた点はありますか？

お腹が空いているとき、人間はイライラするしカリカリもします。でも、お腹一杯になると幸せになります。だから僕はお客さんに美味しいものを食べて幸せになってもらったり、このお店に来て良かったと思ったりと、とにかく良い気持ちになってほしいと思うようになりました。

(取材・文／齊藤裕真、原野雅也 取材サポート／大村公美子)

子どもに生きていく力を

# KIDS!

親子で  
読んでみよう

# ハローワーク



パンづくり  
特別講習中。



インタビュー終了のタイミングで焼きたてのパンの匂い。シェフのありがたい演出でした。



ラソアマナリヴォ ロゼット ララティアナ臨時代理大使  
RASOAMANARIVO Rosette Lalatiana

マダガスカル共和国

面積: 587,041平方キロメートル(日本の約1.6倍)

人口: 2,357万人(2014年、UNFPA)

首都: アンタナナリボ

元首: ヘリー・ラジャオナリマンピアニナ大統領

議会: 二院制(上院164議席、下院365議席、任期5年)

外務省ホームページ

<http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/madagascar/>

マダガスカル共和国

元麻布の住宅街の中にある大使館。入口脇には、地図をデザインしたオブジェが。

取材協力/マダガスカル共和国大使館

大使を訪ねて 33

## 麻布の"世界"から

# MADAGASCAR

### 平和と絆を大切に、お米が大好きな、日本と通じ合える国

マダガスカルはアフリカ東海岸の沖合い、インド洋西部に浮かぶ日本の約1.6倍の面積を持つ島国。ラソアマナリヴォ ロゼット ララティアナ臨時代理大使(RASOAMANARIVO Rosette Lalatiana)(以下、「大使」と表記)は首都・アンタナナリボ出身、1980年生まれという若さだ。大使の口からは時々日本語が飛び出す、和やかな雰囲気インタビューとなった。

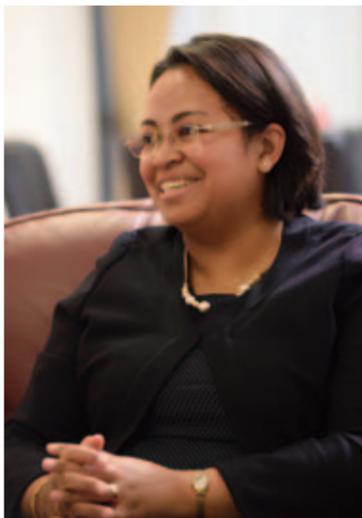
#### 日本人との共通の精神がある

ザ・AZABUのことをご存知で「インタビューを受けること、ワクワクしていました。」と笑顔で迎えてくださった大使。小柄で物腰のやわらかな方だ。マダガスカル大学で法律を学び裁判官を目指すも、国際外交の授業に感銘を受け外交官に。2011年来日、2015年3月、現職に就任した。

大使になる前に受けた日本語や文化についての研修の中で、最も影響を受けたのが「生け花」。「デザイン、まわりのしつらえなど独自の哲学が素晴らしく、日本人の協調性や礼儀を大切にしている精神を理解できたように思います。」各室のテーブルやコーナーには、ご自身で生けたお花がさり気なく飾られて、女性らしい心配りを感じた。

さらに日本の印象を尋ねると、日本人とマダガスカル人に共通項を見出したという。「まずは「平和」と「絆」を重んじる点です。マダガスカルは、1960年にフランスの植民地支配から独立した歴史があり、また、その後の国内の問題もすべて共通語のマダガスカルで解決してきました。そして人々は皆、助け合って生きる精神を持っています。」また、先祖に対する思いにも、似通ったところがある。「故人を敬います。死んでも魂は生きている、という考え方も存在するのですよ。」そもそもマダガスカルには18の民族や多様な文化が共存し、キリスト教、イスラム教、伝統宗教を持つ人たちが混在する。とりわけ5世紀頃移住してきた東南アジア(インドネシア系や、マレー系が多い)の人々の影響が大きいと思われる。

そして日本に来て驚いたのは、「6～8歳の子どもが一人で通学していることです。」通学環境の安全性というだけでなく、「親の手を借りることなく、学校へ行き帰ってくるという点において、早くから日本人は立ち立っているとしました。」子どもをもつ母親としての視点と言えるのかもしれない。



#### バオバブ並木やユニークな小動物たちに出会える

マダガスカルは、豊かな自然環境があるとして知られている。こと、独特な動植物が息している点は特筆ものだ。例えば、童謡にもなった「アイアイ」のお猿さんは、目のくりくりとしたキツネザルのこと。立派な甲羅をもつホウシャガメ、エキゾチックなカメレオンなどなど、どこかユーモラスな小動物たち。また、訪れる人にマダガスカルらしさを印象づけるのがバオバブの樹。物語「星の王子様」にも登場する。樹齢数百年という巨木が多く、力強いそのシルエットは、太陽の動きと共にドラマティックに表情を変えたり。現在、51の自然保護地区があり、国際保護団体と協力して環境の保全に努めているとのこと。保護区によっては見学したり、動物と触れ合うことができ、人気の観光コースとなっている。「国土が広く、地域によって様々な特徴があります。美しいビーチリゾート、ダイビングやホエールウォッチングなど海のレジャーもあり、多彩に楽しめる国です。」

#### 特産品はバニラ、お米、牛肉

さらに、インタビューで盛り上がったのが「食」の話だ。マダガスカルといえば、国の農産物として代表的なのがバニラビーンズで、世界一の品質と、生産量と輸出量を誇る。実物を見せてもらうと、黒いさやの中にびっしりと粒が詰まり、良い香りがする。ケーキやアイス

クリームに使うだけでなく、「紅茶に、砂糖とバニラを入れていただくのもおすすめです。ヨーグルトにも合いますよ。」

主食は「米」。約2,300万人ほどの人口ながら、その消費は日本の倍近い量とか。農業従事者が国民の70%を占めるため、「農作業には体力が必要、たくさん食べないと力が出ませんから」とユーモアを交えて話される。また、「ゼブ牛」と呼ばれる良質な牛肉も特産で、高級なため富裕層の食べ物という認識があるという。「日本でも牛肉は好まれ、「高い」という感覚は少なからずあるので、そういう点も似ていますね」と言うと、「日本では「お魚」が主流なのでは？」と逆に驚かれた。そんな大使の好みの日本食はズバリ「お寿司、刺身」。食文化の共通点は、意外なところで親近感を呼び込むものだ。

インタビュー後になるが、有栖川宮記念公園で「マダガスカル・フェスティバル」が開催されたので行ってみたい。大使おすすめの「ヘナ・リチャ」という伝統的な肉の煮込み料理を食したところ、スパイシーな味付けが絶妙で、実にご飯にぴったりだった。

魅力あふれるマダガスカルに、ぜひいつか行ってみたいと心から思った。

- どこかノスタルジックな雰囲気の漂う、首都・アンタナナリボ。
- 雄大なバオバブの並木道の風景。
- 華やかな色調のパンサーカメレオン。
- 愛らしい姿のワオキツネザル。
- ホウシャガメ。何年生きているのだろうか？
- バニラビーンズは、種がつまったマダガスカル産が一番とされる。
- ゼブ牛の角で作ったプレスレット。お土産で人気がある。
- 白米を添えたゼブ牛ステーキの一品。日本人にも好まれるようだ。

(1～5、8の写真提供/マダガスカル航空)



#### マダガスカルフェスティバル

2015年10月25日(日)、有栖川宮記念公園で、マダガスカルと日本との関係強化のため、日本初の「マダガスカル・フェスティバル」が開催された。食、ファッション、音楽、手工芸品などが紹介され、大勢の人たちがマダガスカルの魅力を感じた。

北条坂の名前の由来は、この地に北条相模守の下屋敷があったことに由来する。「相模守」は官職名だが、「相模」と聞いてピンときた方もおられるかも知れない。

### 関東に覇を唱えた金字塔

この「北条」とは俗に後北条氏と呼ばれ、戦国期に下剋上の嚆矢となり、やがて関東に覇を唱える北条早雲をその祖とする大老舗。当時の「相模国（現在の神奈川県）」は隣国を武田、上杉、今川といった名だたる戦国大名に囲まれた、まさに乱世真ただ中。その苦境を跳ねのけ、稀代の名将3代目北条氏康と天下の名城小田原城を中心に関東全土に版図を拡大していく。やがて4代目北条氏政、5代目氏直の代に北条家最大の版図を築き、関東八州に覇を唱えるも、豊臣秀吉による小田原征伐を招き敢え無く滅亡する。不思議なのは滅亡したにも拘わらず、「下屋敷」を由来とする名前が麻布に残っていることだ。

### 明治まで残った家名

「下屋敷」があったということは、江戸時代に立藩していたことになる。

小田原征伐後の北条家に何があったのか？

調べてみると、この「下屋敷」は河内狭山藩の下屋敷であったことが判った。

「河内」は現在の大阪府。「大阪」といえば豊臣秀吉のお膝元。北条を「征伐」した当の本人が、そば近く呼んだのである。北条家のその後の経緯に増々興味が湧く。

ここに戦国きつての数奇な運命を辿り、後に（狭山）藩祖として北条の家名を明治まで残した人物がいた。それが4代目氏政の弟、北条氏規だ。氏規の幼少時代はまさに群雄割拠、戦国時代の最盛期。北条家も熾烈な関東争奪の渦中にあり、彼は隣国駿河国（現在の静岡県）国主の今川義元のもとに人質として預けられることになる（当時は隣国との不可侵条約には「人質」が不可欠であった）。

この時、ともに人質生活を送り、親交を深めたのが松平元康（後の徳川家康）だった。これが氏規のその後の人生を大きく変えることになる。

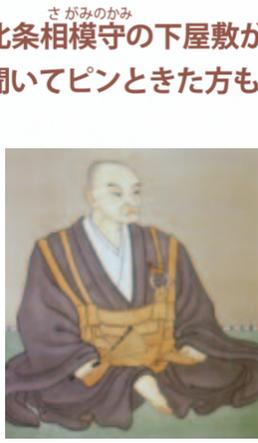
北条家における氏規の役割は今で言うところのスポークスマン。外交に秀でた才能があり、先見の明があった。兄の（4代目当主）氏政もその才を買っていたに違いない。実際、列強居並ぶ周辺諸国への渉外折衝を見事にこなし、北条家の関東制覇の一翼を担っていた。一方、織田信長亡き後の天下の趨勢を読み、早い段階から豊臣秀吉と誼を通じていた。

しかし、氏規の真摯な外交は報われず、家中における反対などから不運にも小田原征伐を招く。それにもめげず、果敢にも居城韮山城（現在の伊豆の国市韮山）に寡兵3千余りで籠城。10倍以上の4万という大軍相手に4カ月近く持ちこたえる善戦ぶりを示すが、徳川家康の説得に応じて開城。戦後罪一等を減ぜられ、秀吉から河内に所領を与えられた。

天下分け目の関ヶ原の戦いが目前に迫る1600年2月、氏規は病死するが、実子の氏盛が家督を継ぎ、当時五大老筆頭であった徳川家康の後押しもあり、狭山藩初代藩主として本領安堵。

時の天下人と早くから知己を得ていたこと、卓抜した外交の才が氏規の、引いては北条家の運命を変えたと言える。

こうして北条家は明治維新まで家名を残すことができたのである。



初代 北条早雲



3代目 氏康



4代目 氏政  
上記3点、小田原城天守閣所蔵品

# 麻布未来写真館

北条坂

坂名の由来は戦国きつての大老舗

### 北条坂の今と昔

麻布から「相模」や「河内」に飛んでしまったが、話を元に戻そう。現在の北条坂は旧テレビ朝日通りの愛育病院前の交差点から、外苑西通りの筭小学校西に抜ける坂道。旧三軒家町と筭町、広尾町の境界、（現在の）南麻布5丁目と西麻布3丁目の境界に位置する。

まずは北条坂の今と昔の写真をご覧ください。

昭和50年時の北条坂のワンショット。写真正面坂の通りから顔を覗かせるひと際大きなビル。高樹町にある富士フィルム本社（現西麻布本社）ビルだ。正直、18階建とは思えない程大きく見える（冗談ではあるが、知らない世代ならばヘタをすると「六本木ヒルズ」にすら見えるかもしれない程）。この当時、周辺に大きな建物が無かったことの証左である。



昭和50（1975）年：北条坂標柱近景



平成25（2013）年

平成25年のショットでは、ほぼ同位置からの撮影でありながら「富士フィルム本社」は全く見えない。

通りそのものも幾分拡張された向きがある。わずか40年間で大きく変化している坂なのだ。

### 麻布の一角に歴史のドラマあり

前述した北条家下屋敷から、その後のジョサイア・コンドルが設計した成瀬（正行）邸などへの変遷や、周辺にはフランス・ブリンクリーの自邸があった（Page 06 『麻布の軌跡』参照）など注目すべきところが多いのだが、その話は別の機会にしたいと思う。

余談ではあるが、この北条坂にあったのは狭山藩「下屋敷」なのだが、ならば「上屋敷」はどこにあったのか？という疑問がふと頭を過る。

それは江戸期の古地図をご覧いただくと判ることだが、北条家の隣家に「木下備中守」とある。この木下家は豊臣秀吉の妻、北政所の兄の家。ほぼ同じ場所にありながら片や「上屋敷」、一方は「下屋敷」。しかも当初の家格から言えば逆でなければ合わない筈。



北条家と木下家は本当に隣同士。両家が麻布の坂に名前を残したのは偶然ではないのかも知れない。出典：増補港区近代沿革図集 麻布・六本木

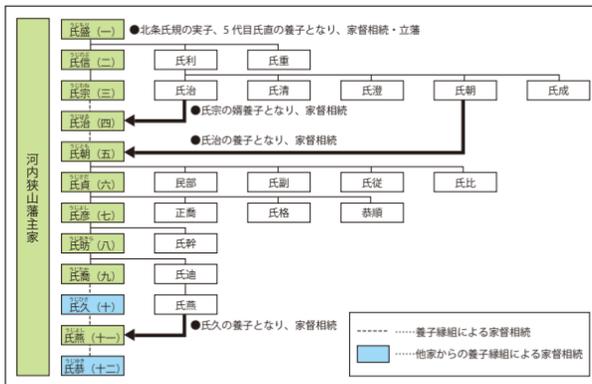
江戸時代に入って皮肉な結果ながら、立場が逆転した格好になったのだ。

ちなみに北条家の上屋敷は日比谷公園音楽堂。

徳川家の仕置きだが、実に皮肉と言う配置（江戸城に近いほど、信頼が厚い＝格上を示す上に、隣同士ときたのだから）。

歴史は時に皮肉を演出する。そこに栄枯盛衰を体現しているのもひとつの妙味と言えなくはないが、こうも歴然たる形が残るのも珍しいのではないだろうか？「救い」と言う訳ではないが、両家とも明治維新まで家名が残った。

麻布に隣同士でその名を留めたのは偶然とはいえ、どこことなく一種の「慈しみ」の様な余韻を感じた。歴史は黙して語らず、人々の事蹟は私たちの心に何某かの余韻を残すものなのかも知れない。麻布の一角に歴史のドラマあり、だ。



上記狭山藩以外でも「忠臣蔵」で悪名を轟かせる吉良上野介や、「大岡裁き」で時代劇でもお馴染みの大岡忠相も実は北条家の血を引いている。

### 「麻布未来写真館」とは

港区麻布地区総合支所では、平成21年度から区民や企業等と協働し、麻布地区の昔の写真などを収集するとともに、定点写真を撮影し、麻布のまちの変化を保存する取組として「麻布未来写真館」事業を運営しています。

当事業は、麻布地区の資料収集・保存を通じて、住民の方々にとって身近な歴史・文化的な資料価値を持つ写真を保全・継承し、より一層活用することを目的としています。同時に、まちの歴史や文化をより多くの方々へ知っていただき、まちへの愛着を深めていただく一助となることを目指しています。

「麻布未来写真館」では、古い写真を探しています。

未来に向けて、残し、伝えていべきとお感じになる「麻布地区の古い写真」がありましたら、港区麻布地区総合支所までお寄せください。詳細につきましては、「協働推進課地区政策担当」までお問合せください。  
お問合せ 電話：03-5114-8812

# 自分の名前のもとに「結果を恐れず やるべきことをしなさい」

英国陸軍大尉 F・ブリンクリー (1841-1912)は、横浜の英字新聞の社主になり明治時代にその軌跡を残した。日本に魅せられたブリンクリーの人生は、日本の文化を理解し、美しい芸術と人を愛し、最後に北条坂に住み、英国の地を再び踏むことがなく、国内外で自己の信念を貫いた。勲二等旭日章受章。

## 日本での人生

F・ブリンクリーはアイルランドの名家に生まれ、トリニティ・カレッジ(ダブリン大学)で数学と古典学を優秀な成績を修め卒業、王立陸軍砲工士官学校に進んだ。元治元年(1864)従兄の香港総督の副官として着任、慶應3年(1867)在日本英国公使館所属武官補として派遣された。その後の人生は、大正元年(1912) 10月の外務大臣内田康哉の勲二等授与の裁可伺い文に語られている。

「…明治四年ニ海軍兵学校教官ニ備聘セラレ後又工部大学校備教師ヲモ務メ本邦学生ノ薫陶ニ従事シ又語学獨案内及英和辞書等ヲ著ハシ…米国ミレット会社ヨリ…日本美術文学歴史ト題スル八冊ノ著書ヲ公ニシ或ハ…倫敦タイムス社ヨリ…日本歴史ヲ公ニシ其他種々ノ…著書ヲ刊行シ…倫敦タイムス東京通信員トシテ常ニ我政治財政經濟實業等ノ実状ヲ海外ニ宣伝スルニ努力シ其ノ積年本邦ノ為ニ致シタル勲功実ニ偉大…」

英国陸軍を退役したブリンクリーを、兵部省は兵学校砲兵生徒の教師として雇った。引き続き海軍兵学校の英語などの教師として6年間勤めた。ブリンクリーは、明治8年(1875)に海軍省へ自ら書いた辞書「語学獨案内」の出版許可願を、再版願を明治18年(1885)に出している。

海軍学校が築地にあり、ブリンクリーは芝山内(現芝公園1丁目)の海軍属舎に住み、明治9年(1876)麻布烏居坂3番地(六本木5丁目11)に移り、次年(1877) 7月火事で、語学独案内、弾薬書、代数学、ユークリッド幾何学等の教授科目を示す書籍が焼失したと記録にある。同9月麻布三河台16番地(六本木4丁目2)に越した。

雇用満期の明治10年、ブリンクリーは馬車で迎えを受け、皇居で明治天皇陛下に拝謁し、砲術及び将師術之傳習汝能ク勉勵盡力ス其功勞不少朕深ク之ヲ嘉尚スの勅語と慰勞金300円、大和錦、青銅花瓶、香炉を賜り、海軍により浜離宮で饗応されている。

明治11年(1878)月給350円で工部大学校の数学教師になり、明治13年(1880)末に退職。明治14年(1881)初めに、ジャパン・メール社の社主、また後にロンドンのザ・タイムス通信員として生涯を過ごした。

明治19年(1887)にブリンクリーは、田中安子と結婚した。明治23年(1890) 4月3日付オーストラリアの新聞The Brisbane Courierに、結婚後にブリンクリーは、日本の適な結婚の有効性を英国でも認めて欲しいと英国高等法院、遺言検認部へ申請したという記事が載った。明治時代の国籍に関する太政官布告第103号によると外国人に嫁した日本人女性は日本国籍を失うとなっていた。家族を愛していたブリンクリーは、夫人が土地を所有できなくなることで自分の遺産の行方を心配してのことであった。結婚は、双方の意思に基づく契約で、一夫一婦制の制度であれば、キリスト教に沿って確立した英国法に適合していると、新聞は報じている。

明治19年、麴町区飯田町6-20。明治20年(1887) 芝田町5-16、この家に最高級の日本の薩摩焼などと中国の陶器、北斎の掛軸などが飾ってあったという。明治22年(1889) 麴町中六番町50。明治23年永田町2丁目7-50。明治30年(1897)、麻布広尾町3番地(南麻布5丁目2)に洋館と数年かけて日本式庭園の自邸を造り、大正元年にそこで生涯を終えた。

## ジャパン・ウィークリー・メール社主

幕末の開港地、横浜にも英字新聞が誕生した。明治政府は、世界に向かって広報外交が大切であることに気がつき、伊藤博文(1841-1909)、井上馨(1836-1915)、伊東巳代治(1857-1934)らは、政治に国内外の報道の役割の大きさを知り、それも特に記事が欧米にも伝わる英字新聞にも関心を払った。

明治13年10月井上馨外務卿は、財政的に困窮した英字新聞「ジャパン・メール」の支援を決め、11月にブリンクリーはジャパン・ウィーク

リー・メールに関わり始めた。外務省は、新聞の半年間2,500ドルの高額の新聞予約購読料をメールに払い、各国の公使館、新聞社などに送付を依頼した。

伊藤は、明治19年6月の井上宛の手紙に「…ヘラルド新聞に何とか手を付け悪言誹謗を書き散らせざる様にするは今日の急務ならん…。同新聞を欧州に購読するものはメールの比に非ず、…」(ママ)と書き、明治20年の伊東宛に「ブランクリー唯今参候得ば、…同人懇切なる注意万々不堪謝」とある。ブリンクリーは政界に巻き込まれている。このために、国内外から、ブリンクリーは政府の御用記者とが「日本最良」と呼ばれ、他方、英国の外交官アーネスト・サトウ(1843-1929)、陸奥宗光(1844-1897)らからは、信頼されていなかった様である。

しかし、実体は、不平等条約条項の領事裁判権の改定に当たり、他の英字紙面が条約改正反対したのに、英国人であってもブリンクリーは、対等な関係こそ日英両国にとって利益になると主張し、また、日清、日露関係などについても日本の立場を弁護しつつ縦横に自らの筆をふるっていた。その文は、穏当に見えるが議論をすれば先方がまいるまで止めない執着力があつたという。

ブリンクリーは、明治14年3月の外務省宛の手紙に、ご支援をいただいても、「Japan Mailの方針は完全に独立し、私が社主である限り、その内容は常に私自身の偽りのない信念です。」と書いている。またメールの通信員へ、署名付きで、「結果を恐れず なるべきを成せ」との告辞を新聞に毎号載せている。

## 日本の芸術と内国勸業博覧会とスポーツ

日本の文物に魅せられたブリンクリーは、弁慶と呼ばれ、自らも弁慶と称し、明治初年頃、横浜から毎日東京に通い、弁慶の絵、古錦絵、書画、骨董や浮世絵などを集めていた。鋭い鑑識眼で収集された日本と中国の陶器、浮世絵などの秀品の468点は、今、コレクターを経てメトロポリタンにある。また、ブリンクリーは、明治14年2月の日本アジア協会で日本陶器の歴史についての講演をした。さらに、明治20年頃から田町の家で画家、河鍋晩斎について絵を習い、画帖を買っている。

ブリンクリーは、明治23年第三回内国勸業博覧会で審査諮問委員を務めた。明治26年(1893)のシカゴ万国博覧会の日本の審査官を務め、「にほんのれきし」を英訳し、米国の会場で頒布した。明治28年(1895)平安遷都記念祭では和英案内記の出版に、メール社で広告を募って支援している。

その一方で、ブリンクリーは、英国人の嗜みとしてスポーツを楽しんでいて、富士登山をめざし、明治33年(1900)に永田町に創設された東京ローンテニスクラブ(現在地:南麻布5丁目)の初代名誉書記を務め、おらかなテニスをしていた。

ジャパン・ウィークリー・メールは、明治時代を研究するには欠くことのできない史料である。例えば、森鷗外に恋した人の来・離日を横浜発の乗船名簿で確認できるし、詳しく読み込めば、歴史に立ち向かったフランシス・ブリンクリーの人となり浮かび上がってくる。

本文:ルビは筆者。註記:勉勵-つとめ励むこと



キャプテン F・ブリンクリーのお墓



# 麻布の軌跡

## キャプテンフランシス・ブリンクリー



F・ブリンクリーの邸宅  
明治29年 増補港区近代沿革図集 麻布・六本木 所収

●参考文献  
昭和女子大学近代文学研究室著 F・ブリンクリー 近代文学研究叢書 第13巻  
国立公文書館蔵アジア資料センター A10112758200 A10112754500 勲00411100  
C11019339100 C0909539800 C09112750400 A04017130800 C09111036700  
新聞雑誌操縦関係雑纂 1880 ~ 1887 B03040604000  
海軍兵学校沿革 第1巻 1920  
旧工部大学校史料編纂会 旧工部大学校史料・同附録 p134  
横浜開港資料館監修 The Japan Weekly Mail: A Political, Commercial, and Literary Journal 1870-1917 復刻版  
斎藤多喜夫 「ジャパン・ウィークリー・メール」について The Japan Weekly Mail 1875-1879 Edition別冊付録  
The Brisbane Courier Validity of Japanese Marriages in England 3 April 1890,p7  
鳥居淳子 日本国籍の得喪における自由と平等(1) 成城法学69号(2002)  
チャールズ・ホーム トニ・ヒューバマン/ソニア・アシュモア/菅靖子編 菅靖子/門田園子訳 チャールズ・ホームの日本旅行記  
立脇和夫監修 ジャパン・ディレクトリー 幕末明治在日外国人・機関名鑑第8、9、10巻  
佐々木隆 伊藤博文の情報戦術 中公新書  
井上馨関係文書講読会 井上馨関係文書 所収伊藤博文書翰翻集 参考書誌研究56号  
伊東文書を読む会 伊東巳代治関係文書 所収伊藤博文書翰翻刻(上)参考書誌研究47号  
岩上はる子&ピーター・コーニッキ編・解説 F.V.ディキンス書簡英文翻刻・邦訳集 有限会社エディション・シナプス  
長谷川進一 ジャパンタイムズものがたり 株式会社ジャパンタイムズ  
徳富猪一郎 老記者叢話 終 民友社  
反町茂雄 紙魚の昔がたり 明治大正篇 八木書店  
エレン・P・コナント フランク・ブリンクリー大尉 p137 ナセル・D・ハリリ・コレクション 第1巻 論文篇所収  
河鍋楠美 晩斎の弟子ブリンクリー 晩斎 第10号 河鍋晩斎研究会会誌  
History of the Empire of Japan translated by Captain F・Brinkley  
京都府参事会編 平安遷都記念祭紀事 巻下  
東京ローンテニスクラブ編 TLTC100年の歩み  
●取材協力:東京ローンテニスクラブ副支配人 酒谷 直彦さん

# 麻布地区総合支所からのお知らせ

麻布地区総合支所は、地域のさまざまな課題について、区民の皆さんとともに考え、行動し、解決に向けて取り組んでいます。

## 港区基本計画・麻布地区版計画書(平成27年度～平成32年度)

区内4地区の総合支所と同様に麻布地区では、前計画に引き続き、検討の段階から区民参画の手法を取り入れて「麻布地区版計画書(平成27年度～平成32年度)」を策定しました。これには、地域の実情や特有の課題を踏まえ、解決策や各地区の魅力

を高める各地区独自の地域事業を盛り込んでいます。今後、実行段階でも区民の参画を得ながら、成果を検証していく予定です。このコラムでは、本計画に盛り込まれている麻布地区の11の地域事業を3回に分けて紹介しています。

## ●麻布地区の地域事業について②(1～3はVol.33を参照)

### 4 麻布未来写真館(協働推進課)

#### ◆事業内容

区民の参画により、麻布地区の昔と現在の写真の対比をパネルにして保存する取組を実施します。

あわせてパネル展の開催、インターネット上への公開を通じて麻布地区の歴史や文化を発信します。

#### ◆今年度の主な取組(予定を含む)

- まちなか歩きの実施(6月・11月)
- 企業との連携によるパネル展示(6月)
- 都立中央図書館でのパネル展示(9月)
- フジフィルムスクエア・東洋英和女学院等でのパネル展開催(平成28年2月～3月)



麻布区民協働スペースにおけるパネル展示。

全体計画目標 (29年度末)	現状 (26年度末見込み)	事業計画			
		27年度	28年度	29年度	計
撮影・資料収集 Web公開 パネル展開催 (43か所)	撮影・資料収集 常設パネル展示 (1か所) パネル展開催 (28か所)	撮影・資料収集 Web公開 パネル展開催 (5か所)	撮影・資料収集 Web公開 パネル展開催 (5か所)	撮影・資料収集 Web公開 パネル展開催 (5か所)	撮影・資料収集 Web公開 パネル展開催 (15か所)
事業費(千円)		4,056	4,680	4,900	13,636

### 5 麻布国際ふれあい事業(協働推進課)

#### ◆事業内容

麻布地区内の大使館や大学、関係団体等の地域資源を活用して、麻布地区に住む、訪れる外国人との多様な交流機会を創出し、麻布地区の魅力をも高める取組を実施します。

#### ◆今年度の主な取組(予定を含む)

- 英語版麻布地域情報紙「ザ・AZABU」の発行(年4回)
- 外国人向け防災訓練ツアーの実施(10月)
- 大使館等との協働による国際文化紹介展示の実施(平成28年1月・3月)



訓練当日は38名の外国人に参加していただきました。

全体計画目標 (29年度末)	現状 (26年度末見込み)	事業計画			
		27年度	28年度	29年度	計
地域活動などへの参加 発行物の翻訳の充実・実施 総合防災訓練への参加・ 交流会への開催	地域活動などへの参加 発行物の翻訳の充実・実施 防災講習会・交流会の開催	充実・実施・ 開催	充実・実施・ 開催	充実・実施・ 開催	充実・実施・ 開催
事業費(千円)		3,394	3,400	3,400	10,194

### 6 麻布フェスタ(管理課)

#### ◆事業内容

地域に根ざしたまつりなどの場や行事を活用し、区民、企業等との協働によるイベント等を開催することにより、区民同士が地域との関わりを持つきっかけを創出します。また、区民をはじめ地域の様々な人々の事業運営への参加を促し、区民協働を推進します。

#### ◆今年度の主な取組(予定を含む)

- ワークショップ「変身でアート！」(六本木ハロウィンとの連携イベント)(9月)
- 森の標本箱を作ろう(11月)
- 墨と筆で遊ぶ AZABUで書5(12月)
- 麻布フェスタのキャラクター募集(平成27年12月10日～平成28年1月15日)



参加者が「六本木ハロウィン」前日のワークショップ「変身でアート！」でオリジナルの衣装を作成し、パレードに参加しました。

全体計画目標 (29年度末)	現状 (26年度末見込み)	事業計画			
		27年度	28年度	29年度	計
事業実施	19回実施	事業再構築 事業試行実施	事業実施	事業実施	事業実施
事業費(千円)		6,994	7,000	7,000	20,994

### 7 麻布で“地域のちから”活性化事業(協働推進課)

新規事業

#### ◆事業内容

子どもから高齢者までの世代間交流や多様な主体との交流を通じて、地域のつながりを深め、魅力あるコミュニティづくりを推進するとともに将来の担い手となる人材の育成を支援し、コミュニティの活性化を図る取組を実施します。

#### ◆今年度の主な取組(予定を含む)

- プレワークショップの開催(平成28年2月)

全体計画目標 (29年度末)	現状 (26年度末見込み)	事業計画			
		27年度	28年度	29年度	計
事業実施	-	事業構築	事業試行実施	事業実施	事業実施
事業費(千円)		3,418	4,340	4,340	12,098

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課地区政策担当

電話/03-5114-8812

## 都税事務所からのお知らせ

### 12月は固定資産税・都市計画税第3期分の納期です(23区内)

12月28日(月)までに、納付書裏面に記載されている金融機関、コンビニエンスストア等でお納めください。納税には、安心して便利な口座振替をご利用ください。パソコン・携帯電話等からクレジットカードでも納付できます。詳細は、HPまたは下記問合せ先へ

#### お問合せ/港区にある物件について

- 課税 港都税事務所 固定資産税係
- 納税 港都税事務所 徴収管理係 電話/03-5549-3800(代表)
- 口座振替 主税局徴収部納税推進課口座振替係 電話/03-3963-2177

### 年末年始における窓口業務のご案内

都税事務所・都税支所・支庁、都税総合事務センター・自動車税事務所での都税の申告・納税・証明等の事務の取扱いは、年末は12月28日(月)まで、年始は1月4日(月)からとなります。12月29日(火)から1月3日(日)までの間に申告書・申請書を提出する場合は、都税事務所・都税支所などに設置している「申告書等受箱」をご利用ください。

お問合せ/港都税事務所 電話/03-5549-3800(代表)

## 乃木坂暫定自転車等置場が一時閉鎖します

乃木坂暫定自転車等置場は、東京都における「南青山陸橋の耐震補強工事」実施に伴い、一時閉鎖します。閉鎖開始時に置場内で駐車されている自転車は、区で一時的保管させていただきますのでご了承ください。

大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解、ご協力のほど宜しくお願いいたします。

#### ●自転車の一時保管について

お問合せ/麻布地区総合支所協働推進課まちづくり推進担当

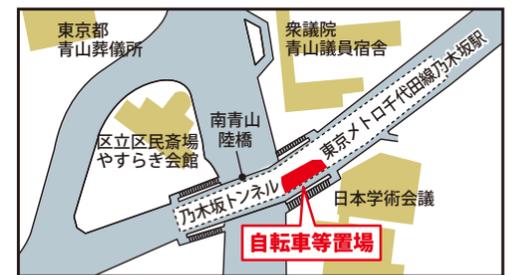
電話/03-5114-8815

#### ●南青山陸橋の耐震補強工事について

お問合せ/東京都建設局第一建設事務所補修課橋りょう維持係

電話/03-3542-3726

期間 平成27年12月18日(金)～平成28年3月上旬(予定)  
区画



## 麻布消防署からのお知らせ

### 救急車を適正に利用しましょう

東京消防庁における救急出場件数は、依然として年々増加し続け、今後さらに増え続けると予想されます。

東京消防庁では、119番通報で救急車の要請を受けると、対応可能な最も近くの救急車を出場させていますが、救急要請が増加すると近くの救急車が全て出場中となり、遠くから救急車が駆け付けるため、到着まで

に時間がかかってしまいます。

救急車の数には限りがあります。

「あなたやあなたの大切な人が倒れた時、救急車を呼んだのに、なかなか来ない…。」その時にはじめて気づくのでは、間に合いません。

その電話、救急ですか?今一度考えてみませんか?

救急車は皆さんが共有する貴重な財産です。その限り

ある貴重な財産を、本当に必要な人が必要なときに利用できるよう、救急車の適正な利用に心がけましょう。

病院へ行く?救急車を呼ぶ?迷ったら #7119

※緊急性があると思われる場合は、ためらわず救急車(119番)をお呼びください。

お問合せ/麻布消防署 電話/03-3470-0119

# 港区麻布地区総合支所だより



## 「六本木安全安心憲章」の取組に関するご案内



### 六本木安全安心憲章 賑わい綺麗なまち六本木を目指して

この憲章は、地域の事業者と行政が一体となって制定した六本木地区の独自ルールで、六本木が目指すまちの姿を宣言するとともに、六本木のまちですべての人が守るべきまちのルールを示しています。



●憲章の内容は、港区公式ホームページからご参照いただけるほか、麻布地区総合支所協働推進課窓口でも全文を配布しています。

「六本木安全安心憲章」については、こちらから  
港区公式ホームページ <http://www.city.minato.tokyo.jp/>

六本木安全安心憲章

検索



### 「六本木安全安心憲章」に賛同していただける店舗・事業所等を募集中！！

区では、港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度を実施し、憲章に賛同していただける店舗・事業所等を以下のとおり募集しています。

#### ●募集概要

対象 六本木地区(六本木3～7丁目及び赤坂9丁目七番)に主として立地又は活動する事業所等。

申込 STEP 1 憲章の趣旨、内容等を港区公式ホームページ等で確認し、賛同書を入力。

STEP 2 賛同書に必要な事項を明記の上、麻布地区総合支所協働推進課へ提出。

「賛同事業所等」として、名称を港区公式ホームページや地域情報誌に掲載されます。

「賛同事業所等」には、区から「認証」を受けるための認証申請書を送付します。

STEP 3 認証申請書に必要な事項を明記の上、麻布地区総合支所協働推進課へ提出。

審査を経て、区から「認証」されると、認証状と認証ステッカーを交付するとともに、名称と活動内容等を港区公式ホームページや地域情報誌により情報発信します。

お問合せ／麻布地区総合支所協働推進課協働推進係  
電話／03-5114-8802



▼港区「六本木安全安心憲章」推奨事業所等認証制度において、六本木安全安心憲章に賛同いただいた店舗・事業所等はこちらです。

#### ●推奨・賛同事業所等一覧(平成27年11月1日現在、307 事業所等)

##### ●推奨事業所等(14)

(賛同事業所のうち地域活動を積極的に  
に行っている事業所等)

##### 【五十音順】

- 居酒屋 竹やん
- 株式会社 エグゼクティブプロテクション
- 王帝商事(株)
- 有限会社下條ビル
- スターバックスコーヒー 六本木ヒルズウエストウオークラウンジ店
- 株式会社 源氏商会
- 東京ミッドタウンマネジメント株式会社
- 東洋英和女学院
- ハリウッド メイスイガーデンSPA
- フォトショップ銀嶺
- みずほ銀行 六本木店
- 三井不動産株式会社 東京ミッドタウンマネジメント
- 森ビル株式会社
- 六本木共同ビル株式会社

##### ●賛同事業所等(293)

##### 【アラビア数字、アルファベット順】

- 202 (ニマルニ)
- 395 SPICE TOKYO
- 3 coins Bar spicy Ki t chen (Roppongi)
- 55ステーション 六本木ヒルズ
- a laise (アレース)
- AFRICA DIAMONDS
- AUX SIX Arbres (オーシザール)
- AYANO'S BAR
- BACKDOOR
- Bar & Café space EDGE2
- Bar. (バー)
- 株式会社 barbarossa
- Book Express 六本木ヒルズ店
- Café & Bar B-cats 六本木
- CAFÉ SINGAPURA
- CAPIRIUHA BAR
- CARESE 東京ミッドタウン店
- Concierge Bar Six
- Dear...
- e.a.gran
- ENVY (エンビー)
- EVASION Bar
- FERIA TOKYO
- FETTI 六本木
- Fillmore east フィルモア・イースト
- GL
- GOLDEN TIGER
- GREEN ASIA
- grüßen (グリュエーセン)東京ミッドタウン店 / (株)マキノトレーディング
- HANWAY 六本木ヒルズ店

- Herootage Deux (エルムタージュ・トゥー)
- HIROFU 六本木ヒルズ店
- HOLE SHOT
- i Darts Tokyo
- IDÉE SHOP / IDÉE CAFÉ PARC
- Iwaki 六本木ヒルズ店
- J S R 六本木倶楽部
- Kader Turkish Restaurant Bar
- KAMABOKO
- Karaoke Bar ハイサイ Jr.
- KAZE
- KINGSTONE CAFE 'N' BAR
- KURACHIKA
- La Chandelle / La coeur
- La Oliva
- Lefty (レフティ)
- LEGO clickbrick 六本木ヒルズ店
- MANGO (マンゴー)
- margo (マーゴ)
- MASSATO PARIS 六本木ヒルズ
- Mijas (ミハス)
- 株式会社 MJC
- (株) mmbi
- My Scotch (マイ スコッチ)
- NEW 88 STREET BAR
- noble
- OPP (オブ)
- Paraiso
- RGA
- SANTAFE
- SILIN火龍園
- Tabio 六本木ヒルズ店
- THE COVER NIPPON
- The Glove 六本木
- ukafe
- ULTRA CLUB
- USHIO
- V2 TOKYO (株式会社VF)
- VEGE-PIG
- VIVIENNETAM 六本木ヒルズ店
- 有限会社 VVF企画(寄席坂)オーラ
- パン・アジール Wine Bar & 六本木ワイン倶楽部
- WHAT'S UP?
- WIND (株)三峰
- Wind
- ZERO BAR

##### 【五十音順】

- (有)アーツ・ショップ
- (株)アーバンホームズ
- アウト スクウェア
- 青木ビル
- アカンタ ブルーベルシガー (株)
- (有)アクアレクス
- (株)麻布青野絵本舗

- 麻布商事株式会社
- 麻布 久徳
- アトリエニキティキ 東京ミッドタウン店
- 株式会社 天城
- アリーナ カフェ
- アルフィー
- 居酒屋 てけてげ
- 出雲大社東京分祠
- イタリア料理店 シシリア
- イタリア食堂 伊菜
- 一障
- 市兵衛町画廊/TAMANI
- イリナ 六本木デリバリー店
- いろいろ
- インド料理 Laila
- インドレストラン モティ
- 株式会社 上野商会 RAWLIFE
- 魚初
- 魚屋 がぶ
- 碧海(うみ)
- (株)エジック
- (株)エス・イー・シー計画事務所
- エスカーダ・エスカーダジャパン
- (株)エスニックダイニング DIYA (ディヤ)六本木ヒルズ店
- エスプリ
- 株式会社 エッグセレント
- エックスワン
- エマクラブ六本木
- (株)エムオン・エンタテインメント
- エリコ クラブ
- エル・アミーゴ
- エルカフェラティノ
- オーピカ モツツアレバ
- お好み焼き はてな
- お食事処 喜遊
- おつな寿司
- オデットエオティール 六本木ヒルズ店
- 男の手料理 ぶりきや
- 可小屋
- 割烹 一献
- 割烹 小田島
- カラオケCITY アンサンブル
- カラオケダイニング セcond
- カラオケ フィーバー
- 餃包 六本木店
- (株)魚洋水産
- ギリシャレストラン スピローズ
- 銀座 六覺燈 麻布十番店
- 喰う呑む処 JUGEMU
- 串屋 しもむら
- クラブ ビアノ
- グランドハイアット 東京
- クリストフル 六本木ヒルズ店
- クロリス
- 医療法人社団ケアリージェンシー 六本木ヒルズクリニック

- けやき坂薬局
- 幸楽苑 六本木店
- 珈琲 たちばな
- 国際文化会館
- 株式会社 胡蝶
- 子安薬局 六本木店
- 紺碧の海
- サードバー
- 薩摩おごじよ
- サルヴァトーレ フェラガモ フェラガモ・ジャパン(株)
- 澤いち
- さわやか信用金庫六本木支店
- ジェズ カフェ&ショップ 麻布店
- ジェラテリア ビッコ 六本木店
- ジェロニモ ショットバー
- ジックス トウキョウ
- 株式会社 ジャスティス・サポート
- シャポー マルゴ
- ジャンティエ
- 株式会社住宅・都市問題研究所
- シューマニファクターズ(オーツカ)
- ジュエリーボックスブロータング
- 春夏秋冬
- (株)ジョーカー、DOGS CARE JOKER
- 株式会社 志る角(しるかく)
- 株式会社 ジンダイ 港営業所
- シンティ警備株式会社 田町事務所
- ズー東京
- 鮨 すぎや橋 次郎 六本木
- 鮨 鯛良 六本木店
- 鮨 ひと
- 鈴波 東京ミッドタウン店
- スターバックスコーヒー 六本木ヒルズウエストウオーク店
- スナック昭和歌謡
- 株式会社 スペーストラスト
- (株)誠志堂ワールド
- 戈六(げいろく)
- セタルモ
- セブンイレブン セントラム六本木店
- セブンイレブン 港区飯倉店
- セブンイレブン六本木3丁目店
- セブンイレブン六本木5丁目店
- セブンイレブン 六本木7丁目店
- セブンイレブン 六本木ティーキューブ店
- セルベッサ
- ギリシャ企画社
- 総合システム企画(株)
- 株式会社拓新 拓新不動産
- 株式会社 立原商店
- 有限会社たにぐち
- 淡悦
- (株)ダンスオブション六本木
- たんや又兵衛 支店
- たんや又兵衛 本店
- チキンマン

- チャーリーズ・クラブ(株)ヒーローズ・ミュージック)
- ティーブリーズ
- デザインワークス ドゥ・コート 六本木ヒルズ店
- 鉄板焼 オータニ
- 天扶良 福島
- でん六
- 東京ミッドタウンJET
- 東京ミッドタウン The SECRET CLOSET
- トニーローマ 六本木店
- とも庵
- ナイツスポット
- 夏茶屋
- 西麻布 BRAND TOKYO
- 一般財団法人 日本開発構想研究所
- 日本酒生産造り専門店 ひとしずく
- 日本料理 龍吟
- 蕪沢商店
- (有)野沢電気商会
- ハードロックカフェ東京
- 萩原商事株式会社
- 函館の寿司 まるかつ水産
- はな
- (株)ジョー・クラブ、DOGS CARE JOKER
- ハリウッド株式会社
- (有)バンコク商事 バンコクレストラン
- ビアンバー 泉
- 美人茶屋 六本木
- ビゼ六本木
- (株)平井薬局
- ファーストキッチン ウェンディーズ 六本木店
- ファミリーマート 六本木七丁目
- (有)フィッシュオン
- ブーケ ド フランス
- 福の膳 六本木店
- ふた川
- フランスレストラン ヴァンサン
- (有)フランセ洋装店
- フランツィスカカーナー バーアンドグリル
- ぶるこぎ亭
- 株式会社 ほうらいやビル
- ホオキバ
- ポーネランド 六本木ヒルズ店
- 北斗歯科医院
- (有)星商事
- ボストア 六本木ヒルズ店
- ポピンズアクティブラーニングスクール
- ホワイトエッセンス六本木Kデンタルクリニック
- マーガレット
- マイバー東京
- マイケル・コース 六本木ヒルズ店
- マクレス・バー
- 株式会社 誠

- 株式会社マテリアス レストランリュース
- マンションミカコ(株)
- 株式会社三井住友銀行 六本木支店
- 美ノ間
- ミューゼルヴァ六本木
- 学校法人 メイ・ウシヤマ学園
- メガ・ブルーバード株式会社
- もびーる
- (有)築場ビル管理
- 有限会社 ユア六本木
- (株)ユナイテッドアローズ ジュエルチェーンズ 六本木ヒルズ店
- 吉野
- ヨルワコレカラ
- らーめん東京食品 六本木店
- ライブハウス Be (ベー)
- (株)ラクラス トゥーズイェムクラス 六本木ヒルズ店
- ラビアンローズ
- ラプンツェル
- ラミーズ六本木
- リボンハッカキッズ 六本木ヒルズ店
- リュネット・ジュラ ミヤコヤ 六本木店
- (株)良品計画 無印良品 東京ミッドタウン
- 株式会社 リラ
- ル・クール
- ルシアンベラフィネ東京ミッドタウン店
- レストラン サイドドア
- レストランバー ティアーズ
- レストランバー ライバック
- ローゼ
- 六本木駅前郵便局
- 六本木 海里
- 六本木 ケントス
- 六本木 鮎処ふる川
- 六本木てんぶら味覚
- 六本木とんちゃん
- 六本木 なかみ屋
- 六本木なぶら
- (株)六本木南蛮亭 総本店
- 六本木萩原ビル
- 六本木ヒルズPLST / (株)リンクセオリージャパン
- 六本木ヒルズ ナチュラルビューティー
- 六本木ヒルズ西堀歯科
- 六本木ヒルズ フレーバードレッサー
- 六本木ヒルズ郵便局
- 六本木 福鮎
- 六本木麻衣
- 株式会社 六本木ラビラスズリ
- 六本木 焔端や
- ワイン&バー b-noir (ビーノワール)

## ザ・AZABUへのご意見・ご要望をお寄せください

ご住所・氏名・職業(学校名)・電話番号・ご意見・ご要望(日本語又は英語、字数・様式自由)を書いて、直接又は郵送・ファックスで、〒106-8515 港区六本木5-16-45 麻布地区総合支所 協働推進課 地区政策担当へ。  
●電話 / 03-5114-8812 ●FAX / 03-3583-3782

## 編集委員を募集しています

地域情報紙「ザ・AZABU」はホームページからもご覧になれます。  
「ザ・AZABU」は英語版も発行しています。



## ザ・AZABU

●配布設置場所のご案内  
六本木1丁目、六本木、広尾、麻布十番、赤羽橋の各地下鉄の駅、ちいばす車内、みなと図書館、麻布図書館、南麻布・ありす・麻布・西麻布・飯倉の各いさぎ Plaza、麻布区民センター、麻布地区総合支所等

●本紙掲載の記事・写真・イラストの無断転載を禁じます。

- Chief 田中亜紀
- Sub Chief 高柳由紀子
- Staff 出石法子 寺尾周祐 大澤佳枝 森 明 大村公美子 山下良哉 折戸桂子 渡辺久剛 田中康寛
- Junior Staff 齊藤裕真 原野雅也

### 編集後記

普段何気なく歩いている路地に「そんなことがあったとは!」と気が付かせてくれるのは編集委員をしている醍醐味だと思います。編集会議で編集委員の皆さんから多くのソースを得られるのも大きな魅力です。取材も私にとっては小さな旅行です。麻布の魅力の皆様にお伝えする立場で不謹慎かもしれませんが、麻布に魅せられ、思いっきり楽しんでます。そういう楽しさも伝えられたら良いなあ、と感じております。ご興味がある方はお気軽にのぞいてみてください、編集会議。  
(田中康寛)

### 「みなとコール」は暮らしの疑問にまとめてお答えします!

区役所のサービスや施設案内、催し情報など、お気軽に問合せください。  
年中無休/午前7:00~午後11:00 ※英語での対応もいたします。

電話 / 03-5472-3710 FAX / 03-5777-8752  
Eメール / info@minato.call-center.jp

“Minato Call” information service  
Minato call is a city information service, available in English every day from 7 a.m. - 11 p.m.  
Minato Call: Tel: 03-5472-3710; Fax: 03-5777-8752; E-mail: info@minato.call-center.jp